

第2期庄内北部定住自立圏共生ビジョン 令和5年度連携事業の取組み状況について

(1) 評価の基準について

成果指標（KPI）について R5 の進捗率を3段階で評価

順調	進捗率 ≥ 100%
概ね順調	R2 100% > 進捗率 ≥ 20% (5年計画の1年目)
	R3 100% > 進捗率 ≥ 40% (5年計画の2年目)
	R4 100% > 進捗率 ≥ 60% (5年計画の3年目)
	R5 100% > 進捗率 ≥ 80% (5年計画の4年目)
遅れている	R5 進捗率 < 80% (5年計画の4年目)

※ 進捗率 = 実績値 / 目安値

目安値 = 基準値 + (目標値 - 基準値) × 経過年数 / 事業年数

※ 目標値が基準値を下回る場合、進捗率 = 実績値 / 目標値 とする。

※ 実績が出ていない項目については評価できないため、「—」とする。

(2) 第2期庄内北部定住自立圏共生ビジョン連携事業の成果目標達成状況一覧

No.	政策分野	分類	連携する取り組み項目	連携事業名	R5 評価	【参考】 R4 評価	
1	生活機能の強化	医療	休日および夜間における診療体制の充実	休日および夜間における診療体制の充実	順調	順調	
2			地域救急医療体制の充実支援	地域救急医療体制の充実支援	遅れている	遅れている	
3			医療機関の連携、ネットワーク化（ちようかいネット）	医療機関の連携、ネットワーク化（ちようかいネット）	医療機関の連携、ネットワーク化（ちようかいネット）	概ね順調	概ね順調
4				調剤情報の共有、ネットワーク化（ちようかいネット）	調剤情報の共有、ネットワーク化（ちようかいネット）	遅れている	概ね順調
5			看護師確保対策	看護師確保対策	概ね順調	概ね順調	
6			がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大	がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大	概ね順調	概ね順調	
7		福祉	児童センター、子育て支援センターの相互利用	児童センター、子育て支援センターの相互利用事業	概ね順調	概ね順調	
8			病児・病後児保育施設の相互（広域）利用	病児・病後児保育施設の相互（広域）利用	遅れている	遅れている	
9			ファミリーサポートセンターの相互（広域）利用	ファミリーサポートセンターの相互（広域）利用事業	概ね順調	概ね順調	
10			介護関係職員の連携強化	包括的継続的ケアマネジメント事業	遅れている	概ね順調	
11			地域密着型サービス(認知症対応型共同生活介護)利用支援	地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業	遅れている	遅れている	

No.	政策分野	分類	連携する取り組み項目	連携事業名	R5 評価	【参考】 R4 評価	
12	生活機能の強化	教育	スポーツ振興の推進	スポーツ少年団の大会等の開催および県駅伝実行委員会への支援	概ね順調	概ね順調	
13				スポーツ大会の開催および支援事業	遅れている	遅れている	
14			文化振興事業の推進	文化芸術活動への参加の促進	遅れている	概ね順調	
15			生涯学習・社会教育事業の相互利用の推進	生涯学習・社会教育事業の相互利用事業	遅れている	遅れている	
16			文化財の保護および利活用の推進	文化財の保護および利活用推進事業	遅れている	遅れている	
17		産業振興	圏域観光物産事業の推進	観光振興・物産振興事業	順調	—	
18				北庄内地域通訳案内士育成事業	順調	順調	
19				鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業	順調	順調	
20				酒の酒田の酒まつり事業	—	順調	
21				家族の時間づくりプロジェクト	順調	概ね順調	
22			企業振興、企業誘致等の推進	企業誘致活動の共同実施	順調	順調	
23				企業振興の推進	—	遅れている	
24			創業の促進	創業塾の開催	概ね順調	遅れている	
25			高校生の地元定着の促進	地元企業情報等の提供	概ね順調	概ね順調	
26			育苗施設の広域利用	庄内北部地域花き育苗施設利用拡大事業	概ね順調	順調	
27		その他	相談事業の拡大	相談事業の拡大	概ね順調	概ね順調	
28			男女共同参画推進センターの広域利用	酒田市男女共同参画推進センターの機能拡充事業	遅れている	遅れている	
29			ボランティア・公益活動センターの広域利用	酒田市ボランティア・公益活動センターの機能拡充事業	遅れている	概ね順調	
30			国際交流サロンの広域利用	酒田市国際交流サロンの機能拡充事業	順調	概ね順調	
31			森林環境の保全	森林病虫害等被害対策事業	順調	順調	
32			消防防災・災害対応体制の充実	消防防災・災害対応体制の充実	順調	順調	
33		結びつきやネットワークの強化	交通インフラ整備	国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進事業	遅れている	概ね順調	
34				山形新幹線庄内延伸促進事業	順調	順調	
35			市町道ネットワークの向上	地域間連絡道路の安全な通行確保と効率的な維持管理	順調	順調	
36			地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	概ね順調	順調	
37			その他	婚活支援事業の拡大	婚活支援事業の拡大	遅れている	概ね順調
38		圏域マネジメント	職員等の交流	合同研修および人事交流の実施	合同研修・人事交流事業	遅れている	概ね順調

※前年度より評価が上がったものは青字、評価を下げたものは赤字で表示

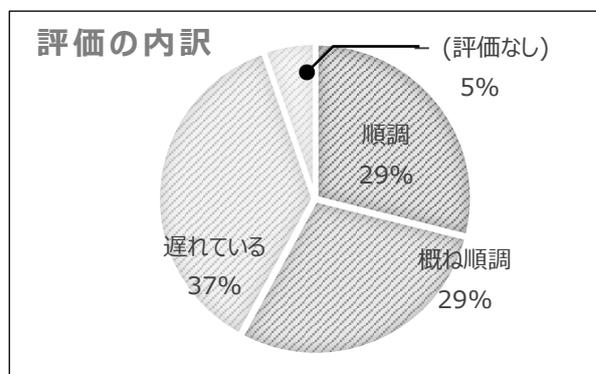
※成果指標が2つある事業は、それぞれの指標の実績を判定し、より遅れている方を表記した。

(3) 第2期ビジョン連携事業の成果目標達成状況（まとめ）

第2期ビジョンの連携事業38項目における評価の内訳は以下のとおり。

() 内は前年度の件数

- ・ 順調 11件 (11件)
- ・ 概ね順調 11件 (17件)
- ・ 遅れている 14件 (9件)
- ・ ー (評価なし) 2件 (1件)



- 令和5年度は5年計画の4年目となるが、「遅れている」（評価基準：進捗率<80%）事業が前年度よりも5件増加し、「概ね順調」が6件減少した。「順調」と「概ね順調」は合わせて6割程度となっている。
- 「遅れている」要因は、各担当課の報告内容から概ね次のとおり推察される。
 - ・ コロナ禍の影響が残り、参加者数や利用者数が伸びなかったもの（No.2、8、10、15、29）
 - ・ 状況や事業内容が第2期開始時から変化したことにより、K P Iの達成が難しくなったもの（No.13、14、16、38）
 - ・ 外部要因（人口や事業者の減少、国の事業の進捗など）の影響を受けているもの（No.4、26、28、29、33、37）
- 「ー」（評価なし）の事業（No.20、23）は、実施方針の変更により、事業実績がないものである。

(4) 各事業の取組状況（令和5年度末時点）

No.1	政策分野 生活機能の強化	分類 医療	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	休日および夜間における診療体制の充実		
事業内容	医師会・薬剤師会および日本海総合病院と連携して、休日診療所および夜間診療所を開設し、関係市町および医療関係団体並びに各種メディアを通じて、休日診療所および夜間診療の適正な利用に関する普及啓発活動を行う。		
成果指標（KPI）	休日診療所・夜間診療の開設率		
取り組み状況・ 具体的成果	各市町の広報誌やホームページにより、圏域住民が利用可能である旨の周知を図っている。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
100.0% (R1)	100.0%	100.0%	100.0%
課題・今後の 方向性	新型コロナウイルス感染症の5類移行後も感染防止対策を講じたうえで、診療所を開設している。引き続き、各市町の広報誌やホームページにより、圏域住民が利用可能である旨を周知し、診療体制の充実を図っていく。		

No.2	政策分野 生活機能の強化	分類 医療	協定町 庄内、遊佐
連携事業	地域救急医療体制の充実支援		
事業内容	救急医療体制充実強化のため、酒田市が事務局となって運営する「酒田地区救急医療対策協議会」において、救急医療の課題抽出およびその解決策の検討を行うとともに、住民に対する普及啓発等の施策を実施する。		
成果指標（KPI）	救命講習等の受講人数		
取り組み状況・ 具体的成果	救急の日、救急医療週間及び応急手当講習受講推進キャンペーン時に消防各署を中心に管内の住民に対して、救急業務及び救急医療に対する正しい理解と認識を深めるための広報及び啓発活動を実施した。 令和5年度の応急手当講習回数は計103回。 命の大切さや救命法の重要性を学童期から根付かせ、将来的に救急救命講習受講の裾野を広げていくために、小学生を対象とした救命講習をうち8回実施し265人が受講した。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
3,447人 (R1)	3,500人	2,170人	1,166人
課題・今後の 方向性	新型コロナウイルス感染症が5類に移行となったことを踏まえ、本地区救急医療体制の現状や救急車の適正利用などについて、「救急の日」、「救急医療週間」にあわせて、普及啓発、広報活動を行う。 通常の救急救命講習に加え、引き続き小学生を対象とした救命講習の普及に努め将来的な救急講習受講者の裾野拡大を図る。		

No.3	政策分野 生活機能の強化	分類 医療	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	医療機関の連携、ネットワーク化（ちょうかいネット）		
事業内容	住民に対し、一貫した治療方針のもと切れ目のない医療を提供する医療連携体制を構築するため、関係医療機関による医療情報の共有化を図る。		
成果指標（KPI）	ネットワークへの参加医療機関数		
取り組み状況・ 具体的成果	酒田地区医療情報ネットワーク協議会が作成したリーフレット等により、窓口での配布や広報誌を通じて、広くちょうかいネットの周知を行っている。（参加医療機関は増加し、患者数は横ばいである）		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 （R6.8.31 時点）
143 施設（R1）	200 施設	164 施設	168 施設
課題・今後の 方向性	住民への周知を引き続き実施し、継続的なネットワークの拡充を行う。お薬情報共有システムとの連携等機能の拡充を図る。		

No.4	政策分野 生活機能の強化	分類 医療	協定町 庄内、遊佐
連携事業	調剤情報の共有、ネットワーク化（ちょうかいネット）		
事業内容	医療費の抑制や服薬指導の効率化を図ることを目的に、ちょうかいネット運営の中核となっている医療機関および薬剤師会との連携強化を図り、ネットワークへの参加医療機関（薬局）の増加に向けた支援を行う。		
成果指標（KPI）	ネットワークへ参加調剤薬局数		
取り組み状況・ 具体的成果	システムの運用によって重複処方や禁忌などの指導が店頭で実施された。また、これらのデータはポリファーマシーの運用にも生かされた。（参加医療機関、登録者数ともに横ばいである）		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 （R6.8.31 時点）
49 店（R1）	61 店	45 店	45 店
課題・今後の 方向性	更に登録者数を募り、医療費の適正化を推進するとともに、管内の調剤薬局全てから事業へ参加していただけるよう普及啓発を図る。		

No.5	政策分野 生活機能の強化	分類 医療	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	看護師確保対策		
事業内容	県の地域医療ビジョン等を踏まえ、地域における看護師の需給状況を把握し、酒田看護専門学校の学生募集活動や圏域医療機関への定着に向けた取り組みを行う。		
成果指標 (KPI)	酒田看護専門学校の圏域内医療機関への就職率		
取り組み状況・ 具体的成果	令和6年度の学生募集については、例年通り庄内地区、新庄市内の高等学校訪問に加え、秋田県内の高等学校も訪問した。学校訪問やオープンキャンパス及び学校ガイダンスなどで、酒田市独自の取組みや支援状況について、丁寧に説明しPR活動を行った。令和6年度の入学者は2年連続で定員を確保することができた。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
71.4% (R1)	75.0%	66.7%	58.8%
課題・今後の 方向性	少子化が進む中で、2年続けて定員を確保出来たのは大きな成果だったと思う。しかし、令和7年度入学者から鶴岡市立庄内看護専門学校が、定員を20名から30名に増員し、令和7年4月には新校舎が完成する。また、庄内看護専門学校の入学試験が12月と早まり、少なからず影響があるのではないかと思われる。引き続き、酒田看護専門学校の魅力を丁寧に説明し、ホームページでのこまめな発信も行っていく。		

No.6	政策分野 生活機能の強化	分類 医療	協定町 庄内、遊佐
連携事業	がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大		
事業内容	がん検診の周知啓発を図るためのチラシ作成やキャンペーン、講演会などを開催する。また、職域と連携し、受診状況の実態調査と受診勧奨を行う。		
成果指標 (KPI)	各種がん検診の受診率		
取り組み状況・ 具体的成果	庄内南部・北部定住自立圏共催で、10月14日に「がん検診受診率向上対策キャンペーン」を実施した。		
基準値 (H30)	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
(胃がん) 酒 28.5% 庄 39.8% 遊 41.9% (子宮がん) 酒 55.8% 庄 60.1% 遊 38.1% (乳がん) 酒 46.3% 庄 50.9% 遊 31.7% (肺がん) 酒 57.5% 庄 59.0% 遊 65.4% (大腸がん) 酒 48.6% 庄 56.5% 遊 59.8%	各市町各検診すべて 60%以上	(胃がん) 酒 23.8% 庄 37.2% 遊 34.5% (子宮がん) 酒 56.3% 庄 55.6% 遊 55.2% (乳がん) 酒 44.0% 庄 49.8% 遊 36.4% (肺がん) 酒 57.7% 庄 58.8% 遊 65.5% (大腸がん) 酒 47.9% 庄 53.4% 遊 61.5%	—
課題・今後の 方向性	引き続き各市町と連携しながら、受診率向上に向けてより効果的な内容のキャンペーンを実施し、普及啓発を図る。		

No.7	政策分野 生活機能の強化	分類 福祉	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	児童センター、子育て支援センターの相互利用事業		
事業内容	酒田市が設置する児童センター並びに酒田市、三川町、庄内町および遊佐町が設置する子育て支援センターの利用および同所にて実施する育児相談、育児講座等の事業について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標 (KPI)	酒田市外の利用者数の割合		
取り組み状況・ 具体的成果	児童センター・支援センターの相互利用が可能であることが普及しているため、特段のPRはしていない。 令和5年度の利用者42,342人のうち、市外利用者は6,397人で、全てが圏域内の住民ではないが、日常的に利用されている。 市主催の育児講座についても同様で、圏域内の方については、酒田市民と同等の取り扱いとして受け入れている。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
16.0% (H30)	16.0%	15.1%	17.6%
課題・今後の 方向性	令和2年度に庄内町、三川町でも子育て支援センターが開設され、利用者は分散傾向にある。令和5年度に入り、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症移行後、徐々に市外からの利用が増加していると思われる。		

No.8	政策分野 生活機能の強化	分類 福祉	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	病児・病後児保育施設の相互（広域）利用		
事業内容	病児・病後児保育施設「あきほ病児・病後児保育所」、病児・病後児保育施設「にこつ」（三川町）および病児・病後児保育施設「ほつと」（庄内町）について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標 (KPI)	広域利用件数		
取り組み状況・ 具体的成果	ホームページ等で施設の広域利用ができることを周知している。あきほ病児病後児保育所の広域利用は、遊佐町22件、庄内町6件、三川町10件。三川町にこつとの利用は酒田市7件、庄内町ほつとの利用は酒田市36件となっている。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
88 件 (H30)	100 件	38 件	10 件
課題・今後の 方向性	令和6年度から病児・病後児保育事業の登録をオンライン登録申請とし、利用者の利便性の向上を図った。		

No.9	政策分野 生活機能の強化	分類 福祉	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	ファミリーサポートセンターの相互（広域）利用事業		
事業内容	酒田市および庄内町が実施するファミリーサポートセンター事業について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標（KPI）	広域会員数		
取り組み状況・ 具体的成果	<p>圏域内の住民で11件の登録があるが、日常的に利用している方はなく、いざという時のための登録と思われる。</p> <p>行政区域を越えて子どもを預ける場合、他町の保育園や小学校に子どもを迎えに行き、協力会員の自宅へ戻り保育することから、送迎に1時間程度を要するなど、協力会員の負担が大きく、本来は地域での預かりが望ましい。そのため積極的な利用促進についての取り組みはしていない。</p>		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
12人 (R1)	13人	11人	11人
課題・今後の 方向性	<p>平成31年度からセンター設立の要件が、50人から20人に緩和され、事業の実施が容易になったことで、庄内町でもセンターを設立された。</p> <p>行政区域を越えた援助依頼は、協力会員の負担が大きく、マッチングが成立しづらい傾向にあることから、行政区域を越えての登録は減少すると思われる。</p>		

No.10	政策分野 生活機能の強化	分類 福祉	協定町 庄内、遊佐
連携事業	包括的継続的ケアマネジメント事業		
事業内容	包括的継続的ケアマネジメント事業として、他職種協働に向けた研修や講演会を開催する。		
成果指標（KPI）	研修会・講演会の参加者数		
取り組み状況・ 具体的成果	研修会4回実施、参加者162人。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
295人 (H30)	400人	162人	85人
課題・今後の 方向性	会場で開催したが、コロナ感染が増える時期はZoom開催を検討する。		

No.11	政策分野 生活機能の強化	分類 福祉	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業		
事業内容	認知症対応型共同生活介護サービス事業所（認知症高齢者グループホーム）について、住民が相互に利用できるようにするとともに、各市町のグループホームの情報を共有し、利用可能な施設への誘導を行う。		
成果指標（KPI）	各町にある認知症対応型共同生活介護サービス事業所の酒田市民の利用者数		
取り組み状況・ 具体的成果	5事業所で合計9人の利用となっている。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
9人 (R1)	15人	9人	10人
課題・今後の 方向性	各市町のグループホームの情報を共有し、利用可能な施設への誘導を行う。		

No.12	政策分野 生活機能の強化	分類 教育	協定町 遊佐
連携事業	スポーツ少年団の大会等の開催および県駅伝実行委員会への支援		
事業内容	酒田市・遊佐町のスポーツ少年団（野球・サッカー・バレー・バスケット・卓球・剣道）6種目の大会と、同スポーツ少年団のスポーツ交流事業を実施するとともに、県駅伝酒田飽海実行委員会に対する支援を行う。		
成果指標（KPI）	実施競技数と両市町参加者数		
取り組み状況・ 具体的成果	子ども達の大会参加の機会を確保するため、各専門部会が主体となって酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会を実施した。酒田市・遊佐町のスポーツ少年団員の競技の垣根を越えた交流を図ることができた。 県縦断駅伝及び県女子駅伝は、当初の計画通り大会が開催された。県駅伝酒田飽海地区実行委員会活動として、大会参加及び合同練習会を実施した。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
1,140人 (R1)	1,030人	956人	899人
課題・今後の 方向性	少子化に伴い、スポーツ少年団員数の減少は今後も進んでいくと思うが、酒田市・遊佐町の交流と子ども達の大会参加の機会を確保するため、今後もスポ少本部大会（6専門部会）を実施していく。		

No.13	政策分野 生活機能の強化	分類 教育	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	スポーツ大会の開催および支援事業		
事業内容	スポーツ大会の開催および共催する大会への支援をおこない、住民のスポーツ振興を図る。		
成果指標（KPI）	主催大会への圏域住民の参加者数		
取り組み状況・ 具体的成果	交流人口の拡大を目的としたスポーツツーリズムに取り組むため、第12回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会を開催した。全国31都道府県、1,122人のエントリーをいただき、コロナ対策として実施種目をハーフと10キロの2種目に限定した。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
834人 (R1)	1,000人	422人	—
課題・今後の 方向性	コロナ禍の影響からか、マラソン大会へのエントリー数が全国的に伸び悩んでいると聞く。本大会では、圏域住民を含めエントリー数を増加させるため、大会PR等に力を入れて全国規模の大会となるよう進めていきたい。		

No.14	政策分野 生活機能の強化	分類 教育	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	文化芸術活動への参加の促進		
事業内容	ホールで実施する事業について、広域的に広報活動を行うとともに、酒田市が実施する体験型ワークショップ等に住民が参加できるようにする。		
成果指標（KPI）	酒田市外の圏域参加者数		
取り組み状況・ 具体的成果	プロの演出家を招き高校演劇部を対象にした演劇ワークショップ、また国内一流のアーティスト5組によるクラシック音楽のアナリーゼワークショップを実施した。圏域からの参加者は演劇ワークショップが1名（庄内）、アナリーゼワークショップが延べ6名（遊佐3、庄内1、三川2）の計7名であり、事後のアンケートによると概ね好評を得た。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
36人 (H30)	43人	7人	0人
課題・今後の 方向性	個別の事業内容は毎年見直すものであり、また圏域との連携を目的に事業組成するものでもないため継続性の担保と評価が難しい。圏域や、当初設定した体験型ワークショップという取組にこだわらず、当方事業については広く告知し市内外からの参加を促していく。		

No.15	政策分野 生活機能の強化	分類 教育	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	生涯学習・社会教育事業の相互利用事業		
事業内容	各市町が実施する生涯学習・社会教育の各種講座等について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標（KPI）	酒田市の講座事業への圏域からの参加者数		
取り組み状況・ 具体的成果	各種講座開催の周知にあたり、市広報やHPに三川町、庄内町、遊佐町在住の方も受講可能であることを明記し募集を行った。実際、それら媒体を情報源として参加した人がいた。また、ほとんどの講座でインターネット経由など窓口に来なくても申し込めるよう設定している。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
18人 (H30)	40人	14人	0人
課題・今後の 方向性	引き続き周知に努め、参加者の拡大につなげる。		

No.16	政策分野 生活機能の強化	分類 教育	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	文化財の保護および利活用推進事業		
事業内容	圏域内における文化遺産の情報を相互に周知するとともに、有形文化財の展示や無形文化財の公演等の相互交流事業を推進する。		
成果指標（KPI）	酒田市民俗芸能フェスティバル・遊佐町民俗芸能祭の観覧者数		
取り組み状況・ 具体的成果	令和5年度は、12月に酒田市民俗芸能フェスタを開催した。（来場者数223人、出演団体6団体）遊佐町からは、横町神代神楽保存会が出演した。（他の市外団体としては、鶴岡市より六所神社獅子舞保存会が出演）		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
926人 (H30)	1,000人	424人	0人
課題・今後の 方向性	酒田市と遊佐町では年に一度民俗芸能団体が公演する機会を設けているが、三川町と庄内町ではそういった機会を設けておらず、民俗芸能団体間の相互交流や、各団体の情報を住民に周知する機会が無いことから、事業廃止の検討が必要。 なお、令和6年度は11月に遊佐町と鶴岡市から各1団体の出演団体を迎えて開催を予定していたが、7月末発生の豪雨災害に伴い、出演予定団体にも被害があったこと等から酒田市民俗芸能フェスタを中止したほか、遊佐町民俗芸能祭も中止となった。		

No.17	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 庄内、遊佐
連携事業	観光振興・物産振興事業		
事業内容	観光誘客および周遊化への誘導に取り組むとともに、首都圏や仙台、海外等での物産展への参加や観光PR活動を行う。		
成果指標（KPI）	クルーズ船受入時の物販参加町数		
取り組み状況・ 具体的成果	新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和元年度からクルーズ船の寄港がなかったが、令和5年度は、4年ぶりに外国クルーズ船6隻が寄港し、安全・安心に受け入れ、庄内町、遊佐町と協力し、ふ頭において物産展など、おもてなしイベントを実施できた。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
2 町 (R1)	2 町	2 町	2 町
課題・今後の 方向性	クルーズ船の寄港が拡大傾向にある中で、オーバーツーリズムを見据えた受入体制の省力化と消費を促す仕組みづくりについて、関係者とともに検討し、継続的な受け入れ体制を維持する。		

No.18	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 庄内、遊佐
連携事業	北庄内地域通訳案内士育成事業		
事業内容	外国人観光客の受入体制の充実を図るため、歴史・文化など圏域の魅力を伝える北庄内地域通訳案内士を養成する。		
成果指標（KPI）	スキルアップ研修の実施		
取り組み状況・ 具体的成果	地域通訳案内士のスキルアップによる顧客満足度向上を図る研修を開催した（全2回）。地域通訳案内士のほか希望者のべ15名参加。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
1 回 (R1)	1 回	2 回	0 回
課題・今後の 方向性	現在認定者は14名。クルーズ船の再開等によりインバウンドが再開されれば、不足を生じる可能性もあるが、新規の育成には費用がかかる。令和6年度の時期と内容は未定だが実施の予定。		

No.19	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 遊佐
連携事業	鳥海山・飛島ジオパーク推進事業		
事業内容	看板や解説板等の整備、住民の機運を醸成するとともに、案内ガイドの養成を行い、ジオパークの名所を巡るツアーを関係市町で連携・協力し実施する。		
成果指標（KPI）	ジオガイドを活用したツアー数		
取り組み状況・ 具体的成果	新たに遊佐町のガイドが1名酒田エリアの資格を取得しており、ジオガイドスキルアップ講座の実施にあたって遊佐町のガイドからも参加いただいている。逆に遊佐町の講座に酒田市のガイドが参加したりと相互交流及び相互学習が進み、それぞれのガイドが近隣の市町のガイドもできるように養成を図っている。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
32本 (H30)	30本	82本	64本
課題・今後の 方向性	認定ガイドの中でも、ガイド活動に参加する人が固定化してきているため、新たなガイドの養成が課題である。ユネスコ世界ジオパークへ認定に向けて、引き続きガイド養成や環境保全活動など、ジオパーク推進協議会と連携し、住民参加型の活動を中心に必要な取り組みを推進していく。		

No.20	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 遊佐
連携事業	酒の酒田の酒まつり事業		
事業内容	寒鱈まつりに合わせ圏域の地酒の試飲イベントを開催し、地酒と食をPRする。		
成果指標（KPI）	酒の酒田の酒まつりでの有料試飲売上額		
取り組み状況・ 具体的成果	酒の酒田の酒まつり実行委員会により、令和5年5月20日の酒田まつりと同日に、中心市街地の中町で「酒の酒田の酒まつり」を開催された。また、令和6年1月28日の寒鱈まつりと連携した酒まつりが開催された。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
296,050円 (H30)	180,000円	—	—
課題・今後の 方向性	運営体制が確立されたことで、事業運営が酒の酒田の酒まつり実行委員会（酒田小売酒販組合等）に移管された。		

No.21	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 遊佐
連携事業	家族の時間づくりプロジェクト		
事業内容	酒田祭りの開催日に合わせ、学校を休業日とする「ふるさと休日」を設定する。		
成果指標（KPI）	ふるさと休日（終日）に取り組む小・中学校数		
取り組み状況・ 具体的成果	ふるさと休日の促進に関し、タペストリーを総合文化センターに掲出したほか、ホームページで周知に努めた。また、酒田まつりの開催に合わせ山形新聞に広告を掲載した。なお、令和5年度は酒田まつり開催日が土曜日だったため、酒田市・遊佐町の対象全30校が全日休となった。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
34校 (R1)	34校	30校	27校
課題・今後の 方向性	総合文化センターへのタペストリー掲出は、安全上の観点から令和6年度より設置を取りやめたが、取組みが浸透し、令和6年度も対象全30校で実施した。(全日休27校、半日休3校)		

No.22	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 遊佐
連携事業	企業誘致活動の共同実施		
事業内容	酒田・遊佐企業立地促進協議会による企業訪問や企業誘致関連セミナーへの出展などを通じて、企業誘致に係る情報発信および情報収集を行う。		
成果指標（KPI）	企業誘致活動の継続実施		
取り組み状況・ 具体的成果	酒田・遊佐工業団地企業誘致促進協議会による企業訪問などを通じて、企業誘致に係る情報発信及び情報収集を行った。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
継続実施 (R1)	継続実施	継続実施	継続実施
課題・今後の 方向性	酒田市及び遊佐町が負担金を支出する「酒田・遊佐企業立地協議会（旧：酒田・遊佐工業団地企業誘致促進協議会）」が主体となり、企業誘致活動を共同実施する内容の連携項目となっているが、それぞれ独自に企業誘致活動を実施している実態がある。また、企業誘致活動を共同実施すること自体が利益相反する面もあって企業誘致（又は立地）件数など成果指標（KPI）を設定することが困難であるため、本ビジョンから本項目を削除（廃止）する。		

No.23	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	企業振興の推進		
事業内容	さかた産業フェアへの出展対象企業について、酒田市以外の各町に事業所がある企業に拡大する。		
成果指標（KPI）	各町からの出展企業数		
取り組み状況・ 具体的成果	令和5年度はあり方の検討に着手し、事業（さかた産業フェア）は実施しなかった。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
4社 (R1)	3社	— (開催せず)	— (開催せず)
課題・今後の 方向性	近年実施してきた「さかた産業フェア」は、本来の事業目的である企業振興や地域産業の活性化に叶うものとは言い難いものだった。また、サンロクの事業により前述した目的に資するものとして、サンロクによる新たな取組の実績も年々増えていることから、当該事業は廃止する。合わせて、本ビジョンから本項目も削除（廃止）する。		

No.24	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 遊佐
連携事業	創業塾の開催		
事業内容	地域経済の活性化および雇用の創出を図るため、酒田市および遊佐町が商工会議所、商工会と連携し、創業塾の開催等の創業を支援する取り組みを行う。		
成果指標（KPI）	創業塾受講者数		
取り組み状況・ 具体的成果	酒田商工会議所、遊佐町商工会、酒田市、遊佐町の共催により「創業塾2023」を実施した。2期に分けて開催し、計25名が修了した。うち令和6年2月末までに13名が創業に至った。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
22人 (H30)	30人	25人	—
課題・今後の 方向性	引き続き、地域の活性化に寄与するよう、新規創業者の創出、育成、創業機運の醸成を目指し、創業塾を開催していく。		

No.25	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 庄内、遊佐
連携事業	地元企業情報等の提供		
事業内容	地元企業情報等を、圏域内の高等学校に提供し、高校生から地元企業を知ってもらうとともに就職活動の際に活用してもらい、地元就職を促進する。		
成果指標 (KPI)	HW酒田管内 新規高卒就職希望者の県内就職率		
取り組み状況・ 具体的成果	ハローワーク酒田管内の事業所に対し「高校生の地元企業個別訪問に係るアンケート調査」を実施し、「個別訪問が可能」と回答した事業所の業務内容やPR、訪問方法などをまとめ、圏域内の各高校に配付するとともにホームページに掲載し、高校生の地元就職の促進、ミスマッチ解消に努めた。(掲載企業数：121事業所)		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
①63.7% (H30) ②56.0% (R01)	(5年平均) 70.0%	67.9%	—
課題・今後の 方向性	今後はデジタルの媒体も活用し、継続して実施していく。令和7年度以降は、アンケート調査の実施を廃止し、訪問を希望する高校生と企業を市がマッチングさせるなど、より利用しやすい制度へ変更する。		

No.26	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 庄内
連携事業	庄内北部地域花き育苗施設利用拡大事業		
事業内容	産地化の拡大・強化を図るため、庄内町が設置し、(株)庄内町種苗センターが指定管理者として運営している育苗施設について、広域で利用できるように調整する。		
成果指標 (KPI)	育苗センターの利用農家軒数		
取り組み状況・ 具体的成果	庄内みどり農協管内ではトルコキキョウの苗を購入している。袖浦農協管内ではトルコキキョウ、キンギョソウの苗を購入している。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
7 軒 (R1)	10 軒	9 軒	7 軒
課題・今後の 方向性	引き続き育苗施設の利用に関する周知を行っていく。		

No.27	政策分野 生活機能の強化	分類 その他	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	相談事業の拡大		
事業内容	弁護士による無料相談会並びに市民生活相談員および消費生活相談員による相談事業について、住民が相談を受けられるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標（KPI）	①市民相談件数 ②消費生活相談件数		
取り組み状況・ 具体的成果	弁護士による無料法律相談の日程を各町に連絡し、無料法律相談の申込みを受け付けている。128件中、三川町5件、庄内町13件、遊佐町2件となっている。 相談員による市民相談、消費相談、電話相談も行っている。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
①478 件 (H30) ②767 件 (H30)	①480 件 ②770 件	①498 件 ②720 件	①220 件 ②364 件
課題・今後の 方向性	今後も継続して実施していく。		

No.28	政策分野 生活機能の強化	分類 その他	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	酒田市男女共同参画推進センターの機能拡充事業		
事業内容	酒田市男女共同参画推進センター「ウイズ」で実施する各種講座や相談対応等について、住民が参加・利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標（KPI）	ウイズ相談受付件数		
取り組み状況・ 具体的成果	ウイズ講座の開催情報を各町担当部署を通じて周知し、各町住民3名の参加があった。また、相談対応は各町住民も利用できる体制をとっている。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
42 件 (H30)	45 件	26 件	17 件
課題・今後の 方向性	引き続きウイズ講座の開催情報の周知と、相談対応の体制を継続する。		

No.29	政策分野 生活機能の強化	分類 その他	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	酒田市ボランティア・公益活動センターの機能拡充事業		
事業内容	酒田市ボランティア・公益活動センターが実施する情報発信や相談業務について、住民が参加・利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標 (KPI)	①センターへの相談件数 ②研修会参加者数		
取り組み状況・ 具体的成果	各町の社会福祉協議会を通して、ボランティア・公益活動センターのPRを継続するとともに、センターだよりを各町役場に送付しPRしている。相談件数は、3町在住者は3件。 ボランティア参加者の裾野を広げる取り組みとして、夏のボランティア体験を実施した。市内高校に通う3町在住の参加者は5名となっている。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
①627 件 (H30) ②234 件 (H30)	①700 件 ②270 人	①481 件 ②211 人	①230 件 ②100 人
課題・今後の 方向性	今後も、関係機関と連携を進め、ボランティア活動への助言、コーディネート機能を強化していく。 人口減少や団体の高齢化等、活動の担い手が減少している中ではあるが、一定の参加者確保に努めていく。		

No.30	政策分野 生活機能の強化	分類 その他	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	酒田市国際交流サロンの機能拡充事業		
事業内容	酒田市国際交流サロンで実施する各種イベント等について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標 (KPI)	各種イベント等の実施回数		
取り組み状況・ 具体的成果	各国の文化や歴史に触れたり講師との交流を目的に開催しているトラベリングデイを3回開催した。また、新しく来た外国出身者等と、先輩出身者等とが気軽に交流できるウェルカムパーティーを2回、国際交流まつり、ワールドヌードルフェスティバル、在住外国人に向けた交通ルールを学ぶ講座や和菓子作り講座などの開催に取り組んだ。なお、イベントへの参加は各町住民も参加できる体制をとっている。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
3 回 (R1)	4 回	9 回	1 回
課題・今後の 方向性	これまで以上に酒田市国際交流協会とも連携しながら、引き続き、イベント等には3町からの参加者も受け入れる体制を取り、異文化交流を実施していく。		

No.31	政策分野 生活機能の強化	分類 その他	協定町 遊佐
連携事業	森林病虫害等被害対策事業		
事業内容	両市町が連携を図り、松くい虫被害の防除を実施する。		
成果指標 (KPI)	被害材積量		
取り組み状況・ 具体的成果	関係市町が連携を図り、松くい虫被害の防除を実施した。		
基準値	R06 目標 (目標値を下回ること)	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
11,815 m ³ (R1)	6,300 m ³	3,005.41 m ³	4,152.71 m ³
課題・今後の 方向性	国・県・市・町の森林担当部署においては「松くい虫防除プロジェクト会議」などにより連携を図っているが、企業所有地など民有地での松枯れ被害も目立ってきていることから、民間への啓発活動・駆除要請等についても実施していく必要がある。		

No.32	政策分野 生活機能の強化	分類 その他	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	消防防災・災害対応体制の充実		
事業内容	関係市町の情報共有、連携強化のための組織を設置するとともに、災害備蓄、災害対応資機材の計画的整備や広域避難を推進する。		
成果指標 (KPI)	情報交換会開催数		
取り組み状況・ 具体的成果	庄内地域地震・津波災害対策連絡協議会や鳥海山火山防災協議会（ZoomによるWeb会議）に参加し情報共有を図った。女性対象の防災リーダー育成研修会には、3町から4名参加があった。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
1 回 (R1)	1 回	1 回	—
課題・今後の 方向性	担当者間の情報交換を密にすることで、有事の際の体制・対応を万全なものとする。災害種別に応じた、自治体の枠にとられない広域的な避難方法の調整を進めていく。		

No.33	政策分野 結びつきやネットワークの強化	分類 インフラ	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進事業		
事業内容	同盟会への参画を通じて整備促進に向けた各種活動を展開する。		
成果指標 (KPI)	供用率 (供用延長/計画延長50 k m)		
取り組み状況・ 具体的成果	7/4に山形県最上総合支庁へ、7/10に国土交通省酒田河川国道事務所へ、7/13に国土交通省山形河川国道事務所、東北地方整備局へ、7/14に国土交通本省、財務省、県選出国會議員等へそれぞれ要望活動を実施した。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
42.6% (H30)	61.4%	42.6%	42.6%
課題・今後の 方向性	早期目標達成のため、今後も要望活動は、継続する。		

No.34	政策分野 結びつきやネットワークの強化	分類 インフラ	協定町 庄内、遊佐
連携事業	山形新幹線庄内延伸促進事業		
事業内容	陸羽東西線利用推進協議会への参画等を通じて山形新幹線の庄内延伸に向けた要望活動を展開する。		
成果指標 (KPI)	山形新幹線庄内延伸の事業化に向けた要望活動		
取り組み状況・ 具体的成果	陸羽西線の輸送改善と高速化、山形新幹線の庄内延伸について、庄内地方重要事業要望、酒田市重要事業要望において要望を行った。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
2回 (R1)	2回	2回	2回
課題・今後の 方向性	令和4年5月から陸羽西線が運休止、バスによる代行輸送を行っている。令和6年度中のバス代行輸送終了後についても、山形県、他自治体と協力して陸羽西線の利活用・存続について取り組んでいく。		

No.35	政策分野 結びつきやネットワークの強化	分類 インフラ	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	地域間連絡道路の安全な通行確保と効率的な維持管理		
事業内容	地域間にある道路改良を行なうほか、橋りょうおよびトンネル等の道路施設を長寿命化するための計画を策定し、修繕工事を実施する。また、地域間道路における除雪では、路線交換等により効率化やコストの縮減に努める。		
成果指標（KPI）	事業実施数		
取り組み状況・ 具体的成果	橋りょう長寿命化計画に基づく設計を継続的に実施した。 道路改良事業は、庄内町及び酒田市が工事を実施した。 除雪交換路線は、昨年度と同様、三川町と実施している。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
4 事業 (R1)	5 事業	7 事業	7 事業
課題・今後の 方向性	橋りょう延命化及び道路改良・舗装補修は、財源である交付金の確保に努めながら、継続的に事業実施していく。 5年に一度実施するトンネル（綱取隧道）の法定点検を、遊佐町と本市との管理割合に応じて費用を負担し合い、共同発注を行い連携を図っている。（令和5年度から開始） 除雪交換についても、他町との連携を深め、更なる事業の効率化を検討していく。		

No.36	政策分野 結びつきやネットワークの強化	分類 地域公共交通	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	地域公共交通の導入検討		
事業内容	地域住民の移動手段について、公共交通の視点から事業化を検討する。		
成果指標（KPI）	新たな地域公共交通の具体化本数		
取り組み状況・ 具体的成果	酒田市が令和4年8月1日に交通体系を改編したことに伴い、庄内町が庄内町デマンドタクシー余目酒田線を運行している。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
—	3 本	2 本	2 本
課題・今後の 方向性	今後も情報共有を図りながら、新規路線の導入や運行内容の改善を検討するとともに、利用促進活動を行う。		

No.37	政策分野 結びつきやネットワークの強化	分類 その他	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	婚活支援事業の拡大		
事業内容	男女の出会いの場、婚活イベント等を広域で取り組む。		
成果指標 (KPI)	婚活支援事業での成婚件数 (圏域)		
取り組み状況・ 具体的成果	圏域を対象とした休日結婚相談会を6回開催した。また、婚活イベントを3回開催し、他町から合計で7名の参加があった。 圏域内の結婚サポーターを対象とした研修会を市主催で開催し、ハッピーサポートセンターや県庄内総合支庁で開催するサポーター向けの研修会について周知した。		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
31 件 (H30)	35 件	18 件	4 件
課題・今後の 方向性	結婚サポートセンターへの女性登録者が少なく、サポーターによる紹介だけでなく、イベントの開催も難しくなっている。引き続き、圏域内での支援の連携を図るとともに、センターの周知を行い、登録者および若い世代のサポーターの増加を目指す。		

No.38	政策分野 圏域マネジメント	分類 職員等の交流	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	合同研修・人事交流事業		
事業内容	自治体間による人事交流および合同研修を実施する。		
成果指標 (KPI)	①各町との人事交流 ②合同研修実施後のアンケートの総合評価 (5段階評価)		
取り組み状況・ 具体的成果	平成27年度から、遊佐町、庄内町と各1名ずつ人事交流を行っている。遊佐町は令和4年10月末で交流終了、令和5年度は遊佐町への派遣者なし。 係長級職員を対象とした合同研修 (JST研修) を実施し、効果的な業務管理・部下育成について意見交換を交えながら研修を行った。 実施日：令和5年6月28日～30日 受講者：19名 (酒田市11人、三川町3人、庄内町3人、遊佐町2人)		
基準値	R06 目標	R05 実績	R06 実績 (R6.8.31 時点)
① 4人 (R1) ② 4.7 (R1)	① 6人 ② 4.0	① 2人 ② 4.8	① 2人 ② 4.9
課題・今後の 方向性	人事交流については、引き続き成果や必要性を踏まえながら継続して取り組む。 合同研修 (JST研修) については、参加者同士が意見交換して進める内容であり、他の自治体職員と刺激し合うことで研修効果を高めることができるため、令和6年度も継続して実施する。 今後、JST研修講師養成講座と教材の販売がなくなるため令和7年度以降合同研修は実施が難しい。講師養成講座が県研修所にて実施されれば継続も検討できる。		